【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】令和7年3月18日(2025.3.18)

【国際公開番号】WO2024/018819
【出願番号】特願2024-534987(P2024-534987)
【国際特許分類】
H02K 1/18(2006.01)
H02K 1/2798(2022.01)
H02K 16/02(2006.01)
H02K 21/24(2006.01)
【FI】
H02K 1/18 A
H02K 1/2798
H02K 16/02
H02K 21/24 M

【手続補正書】
【提出日】令和6年12月25日(2024.12.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ステータと、
前記ステータに対して回転可能であるロータと、
を備え、
前記ステータと前記ロータの間に、前記ロータの回転軸の方向に沿ったギャップが設けられ、
前記ロータは、
回転方向に沿って異なる磁極が交互に並ぶ永久磁石を有し、
前記ステータは、
前記ロータの回転方向に沿って並ぶ複数の電磁石と、
前記複数の電磁石が取り付けられる取付板と、
を有し、
前記複数の電磁石はそれぞれ、
ステータコアと、
前記ステータコアに巻回されたコイルと、
を有し、
前記取付板は、円盤状に形成され、その表面に前記複数の電磁石のそれぞれの前記ステータコアが固定される、
モータ。
【請求項２】
前記取付板は、前記取付板の外径に基づいて決定される前記ギャップの許容変位率が所定の条件を満たす厚みに形成される、
請求項１記載のモータ。
【請求項３】
前記取付板の一部又は全部が金属製である、

請求項２記載のモータ。
【請求項４】
前記取付板の一部又は全部を構成する金属は、鉄を含む合金である、
請求項３記載のモータ。
【請求項５】
前記許容変位率は、前記ギャップの大きさを前記取付板の半径で除した値の百分率以下である、
請求項２－４のいずれか１項に記載のモータ。
【請求項６】
前記ロータを第１のロータとし、
前記ステータを挟んで前記第１のロータと対向し、かつ、前記第１のロータと連結される第２のロータを更に備え、
前記第１のロータは、
回転方向に沿って異なる磁極が交互に並ぶ前記永久磁石と、
前記永久磁石を支持する支持部材と、
を有し、
前記第２のロータは永久磁石を有しない、
請求項１－４のいずれか１項に記載のモータ。
【請求項７】
請求項１－４のいずれか１項に記載のモータと、
前記モータに駆動されて回転する１つ以上の羽根と、
を備える、
天井扇。